

学校の教育目標

よく考え **励まし合って** **やりぬく子**
 ・よく考える子 ・励まし合う子 ・やりぬく子

本校児童の実態

- ・タブレットに図や式を書き込んで相手に示すなど、ICTを活用して自分の考えを表現することができる。
- ・仲間との交流では、一方的な発表にとどまっており、双方向の交流（対話力）に課題がある。
- ・ヒントフォルダを使って、自分の考えをもつことができるようになったが、考えを深めたり、多様な方法を考えたりすることには弱さがある。

研究主題

対話を通して、
 学びの深まりを実感する児童の育成
 ～ICT機器を効果的に活用した
 各教科の授業実践を通して～

＜岐阜県教育委員会の方針＞

- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、思考力・判断力・表現力及び自ら学ぶ意欲や態度を育て、学力向上を推進する。

めざす児童像

◎ICT機器を活用し、仲間との対話を通して、学びの深まりを実感できる子

研究仮説

ICT機器の活用場面や意図を明確にした授業、「話したくなる」「聴きたくなる」「知りたくなる」ような対話が生まれる授業をしていくことで、仲間とともに考えを伝え合いながら、学びの深まりを実感することにつながる。

研究内容

1 効果的にICTを活用する学習活動の開発

(1)各教科でのICT活用場面の設定と工夫
 (R5までは、算数科の実践)

(2)発達段階に応じたICT活用場面の意図の明確化と工夫

2 対話的な学習を充実させるための指導の工夫

(1)コーディネート工夫（聴き合う）
 ・方法（交流形態）・発問、投げかけ・評価 など

(2)ふりかえりの工夫（学び合いの成果）

＜研究の共有化・活性化＞

学年部での授業案の検討

視点を明確にした主張ある授業公開

全員の学習状況の見届け

研究会で実践の確かめ

＜研究の評価改善サイクルの確立＞

計画 ← 改善

↓ ↑

実践 実態分析評価

- 基盤となる活動**
- ◎ 学習のルールの徹底（ハンドサイン・声のものさし・ノート作り）
 - ◎ 「聞く・話す・書く」指導の徹底（毎日の授業、音読、話し合い活動・朝活動）
 - ◎ 表現力を高める話型指導
 - ◎ 計算・漢字タイムで基礎・基本の習熟と検定の実施による学力定着の見届け
 - ◎ 家庭学習の習慣化（家庭学習の手引き、家庭学習パワーアップ週間）
 - ◎ 授業や家庭学習でのタブレットの積極的な活用
 - ◎ 朝学習でのタブレット端末操作のスキルを高める指導